

2020年は旋風の年でした。私たちは昨年の中夏、未知なるものへの戸惑いや恐れといったごく一般的な感情を、実験や夢想、そして挑戦の機会へと転換するという使命に着手しました。

そこで生まれたのが「#JapanRevisited202x: then-now-after」です。当初は、インターネット上にインタラクティブなオンラインプラットフォーム japanrevisited.at を開設し、オーストリアのアーティストの視点からの日本に関する思い出や希望、夢を「再訪」できるようにしました。作品を募集したところ、驚くべきことに237人のアーティストから223点もの作品が集まりました。そこから、私たちを前例のない冒険へと駆り立てる興味深いプロジェクト100点以上が選ばれました。

このたびみなさまにお届けする出版物は、この旅の次のステップです。これをみなさまと共有できることを嬉しく思います。#JapanRevisited202xを物理的な形することで、日本を（再）体験し、このユニークな瞬間を保存するためのさらに別の途を開くことができることを願っています。

ここに掲載されているプロジェクトは、膨大な労力と時間とをかけた結果であり、ここから、アーティストたちの日本に対する情熱と好奇心を垣間見ることができます。そして、私たちのみならず、何千人ものバーチャルな訪問者を、実験と遠く離れた場所への冒険を決してやめないよう、励ましてくれることでしょう。

ご高覧いただければ幸いです。よろしく願いいたします。

マリオ・フィールグラダー

オーストリア文化フォーラム東京 所長

シビラ・パトリチア

キュレーター、#JapanRevisited202x